

第16回

国道19号桜通自転車安全利用協議会

～東側区間の整備概要～



平成27年9月3日（木）



～ 目 次 ～

1. 整備対象区間
2. 東側区間の整備概要
 - (1) 自転車通行空間の整備計画
 - (2) 自転車道との切替部の安全対策
 - (3) 桜通大津交差点の整備計画
 - (4) 左折時巻き込み事故防止対策
 - (5) 駐輪場の整備計画
3. 供用時の広報活動
 - (1) 広報時期と広報媒体
 - (2) 街頭指導及びチラシ配布状況
 - (3) イベントの状況

1. 整備対象区間

■整備対象区間は
伊勢町通り～小川交差点間の延長1.2km。

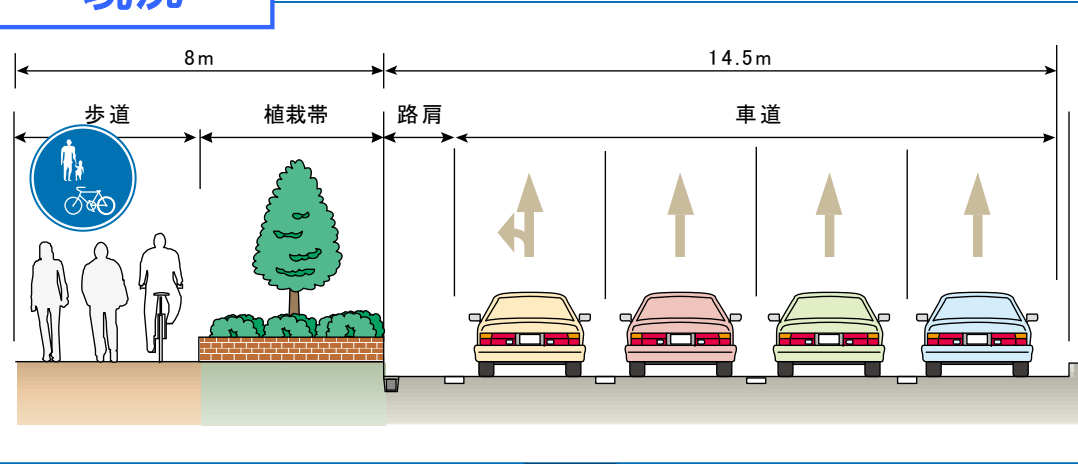


2. 東側区間の整備概要 (1) 自転車通行空間の整備概要 P4

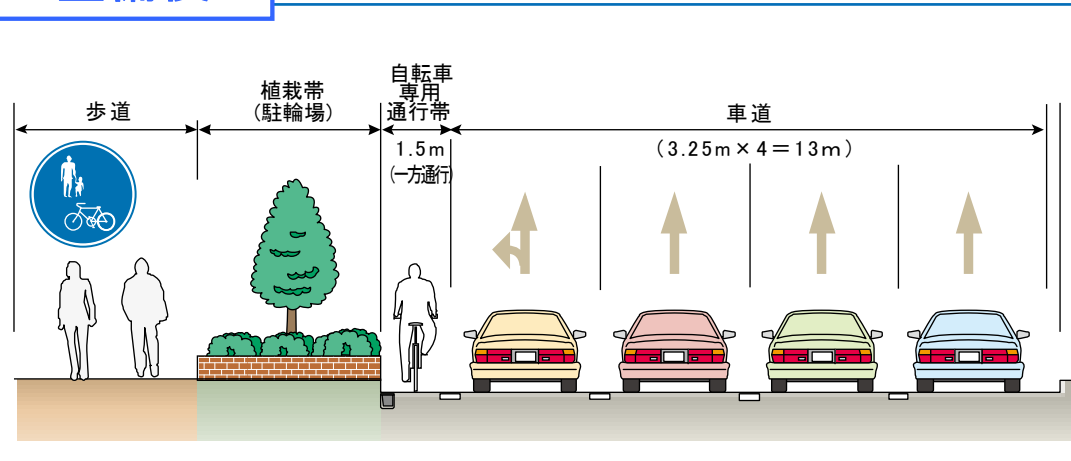
■整備形態 自転車専用通行帯（一方向の通行）W=1.5m 車道4車線
 ※歩道の自転車通行可の規制はそのまま継続

<伊勢町通り～桜通久屋東交差点間>

現況

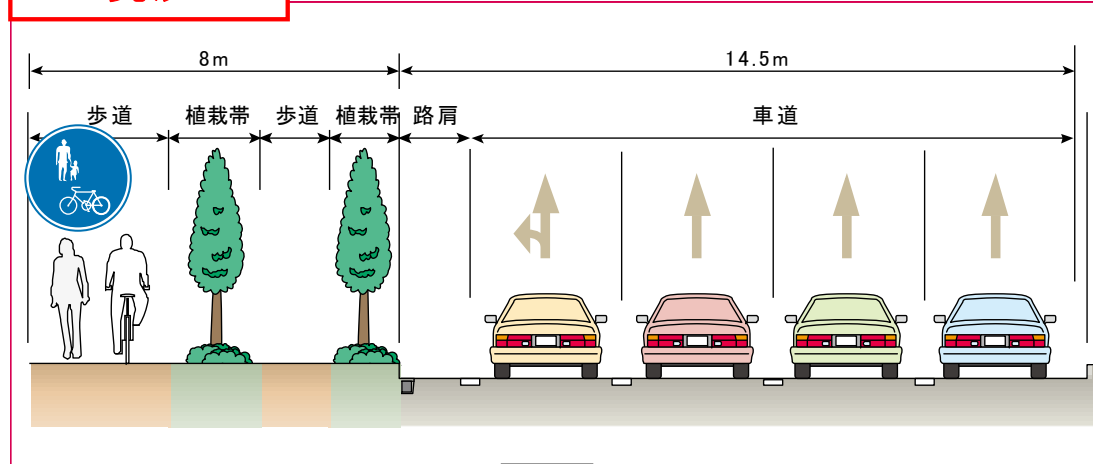


整備後

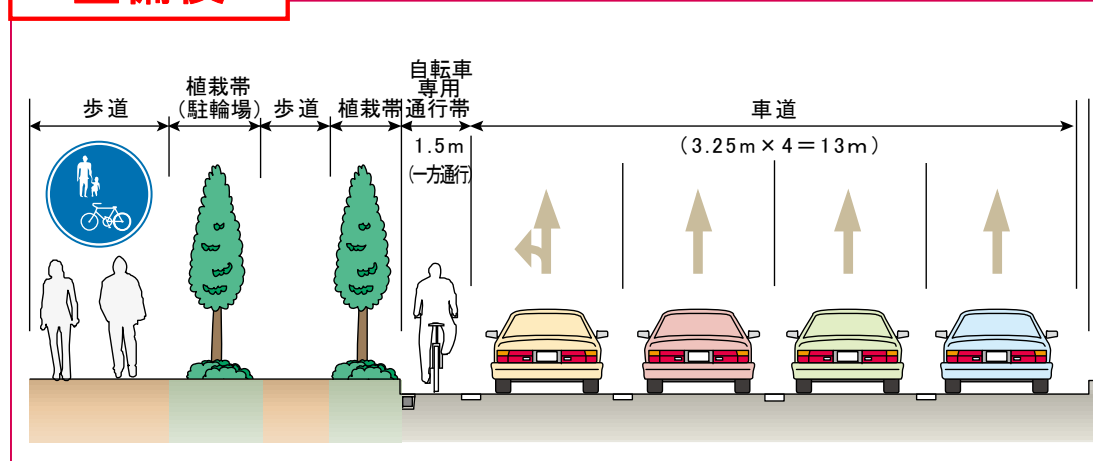


<桜通 久屋東交差点～小川交差点間>

現況



整備後

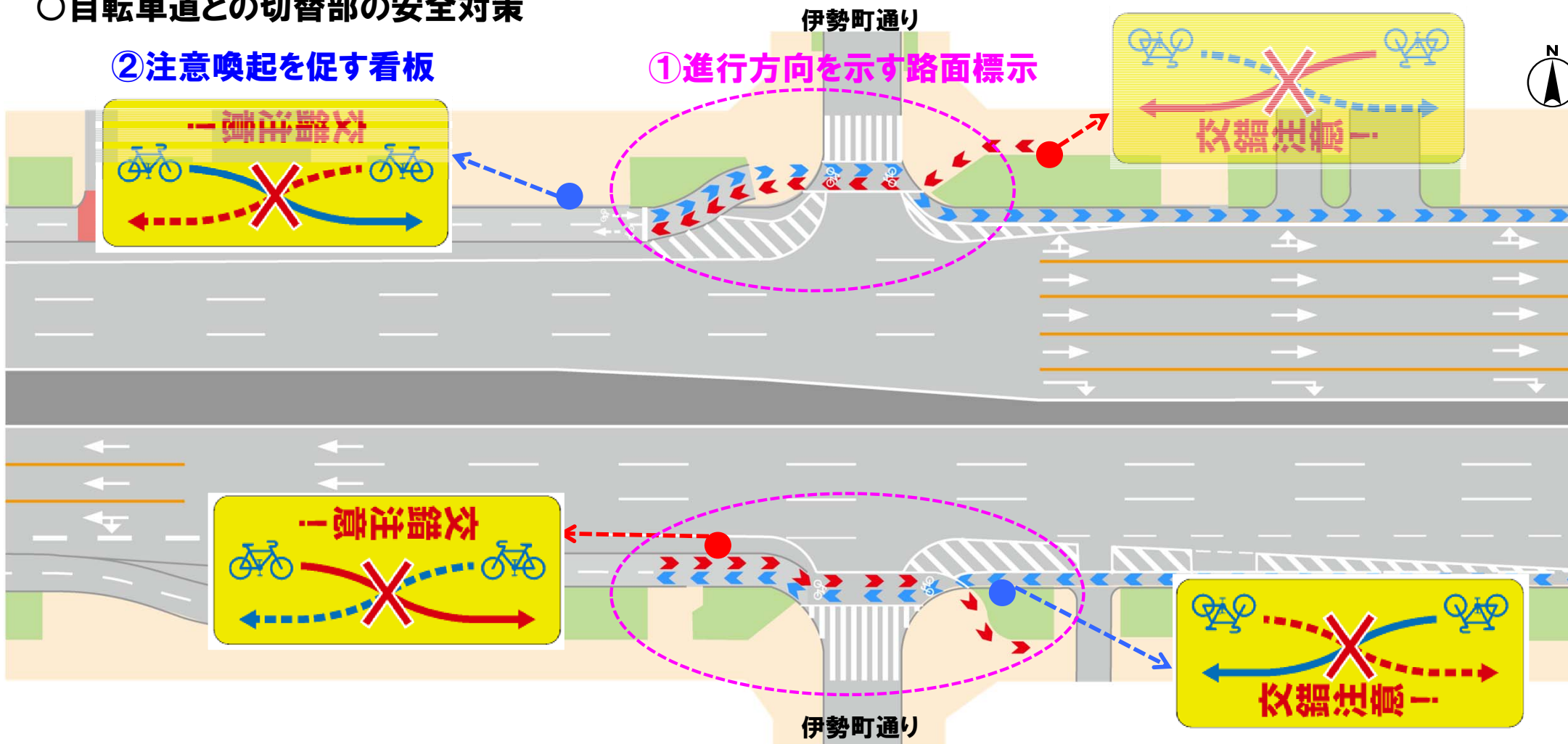


(2) 自転車道との切替部の安全対策

■ 双方向の通行の自転車道と、一方向の通行の自転車レーンとの切替部の安全対策として、

「①進行方向を示す路面標示」 「②注意喚起を促す看板」 を設置。

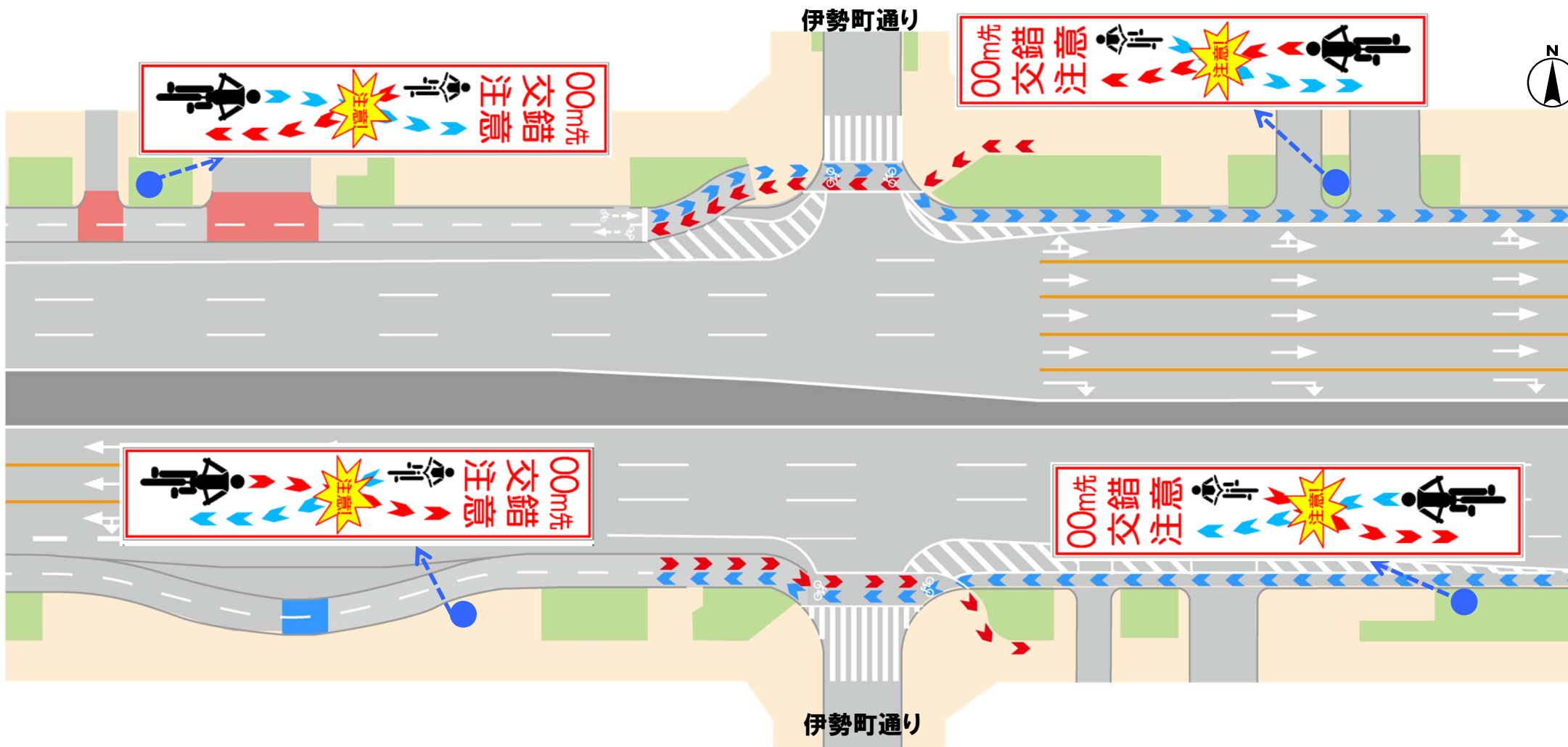
○ 自転車道との切替部の安全対策



(2) 自転車道との切替部の安全対策

■ 双方向の通行の自転車道と、一方向の通行の自転車レーンとの切替部の安全対策として、「注意喚起の予告を案内する看板」を設置。

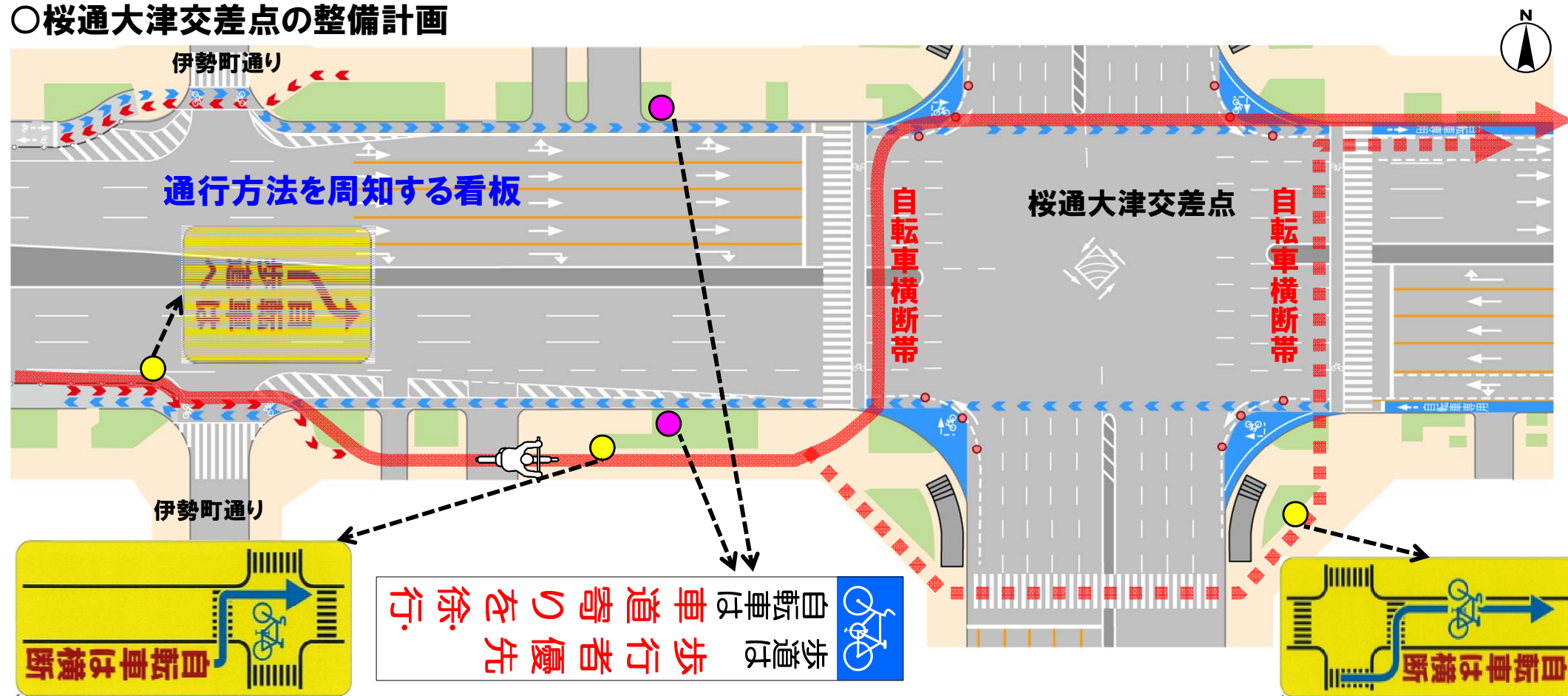
○ 自転車道との切替部の安全対策



(3) 桜通大津交差点の整備計画

- 南側自転車道を西から東へ向かう自転車が、一旦、自転車歩行者道を通行し、桜通大津交差点の自転車横断帯を横断し、自転車レーンを通行できるように「自転車横断帯」は撤去しない。
- 合わせて、「通行方法を周知する看板」を設置。

○桜通大津交差点の整備計画



(4) 左折時巻き込み事故防止対策

- 交差点部における自転車走行空間を直進する自転車と左折自動車とのヒヤリハットが発生。
- 自転車の走行位置を明確化するため、交差点内での滞留スペースやポストコーンを整備。

○左折時のヒヤリハット状況



○左折時巻き込み事故防止対策(路面表示+ポストコーン)

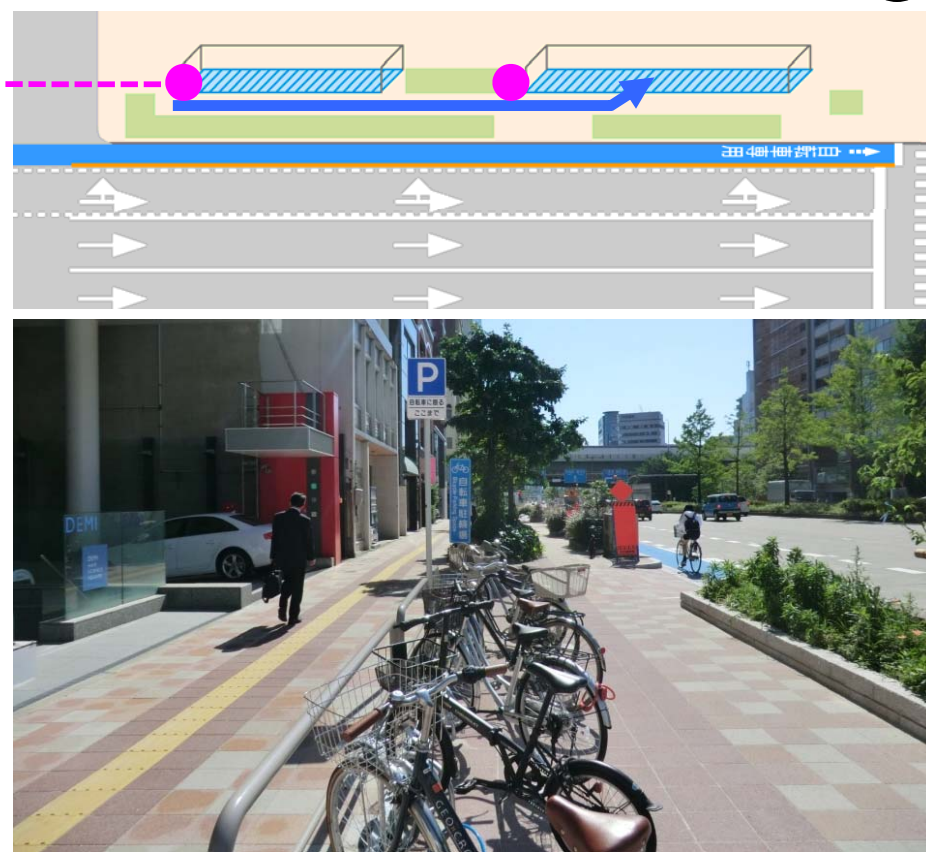


- 従来どおり歩道は自転車通行可の規制となるため、歩道からのアクセス可能な形状で整備。
- 放置自転車対策として、歩行者の通行空間を確保するため、歩道内にラック付きの自転車駐車を整備。

○高岳駅周辺の駐輪状況



○駐輪場の整備計画



3. 供用時の広報活動

(1) 広報時期と広報媒体

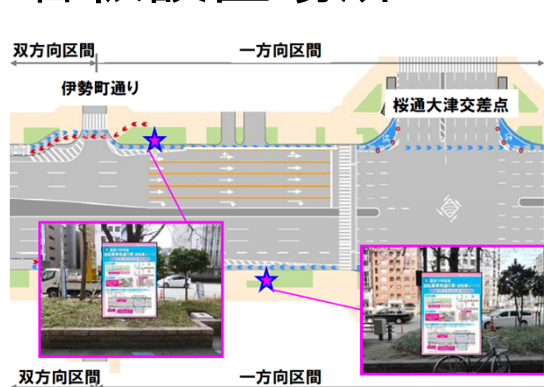
○広報時期

- ・平成27年3月20日(金) 伊勢町通り～高岳交差点
- ・平成27年7月5日(日) 高岳交差点～小川交差点

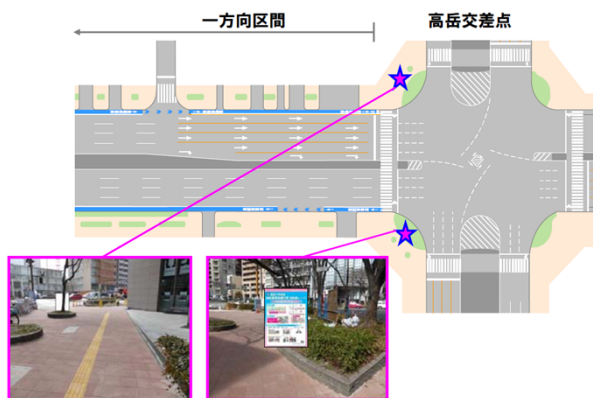
○広報媒体

広報媒体	広報用途
チラシ	自転車利用者用, 自動車利用者用(タクシー・トラック協会), バス事業者用, 自転車駐車場利用案内
ポスター	自転車利用者用, 自転車駐輪の啓発用
看板	自転車利用者向け (伊勢町通り付近, 高岳交差点, 小川交差点)

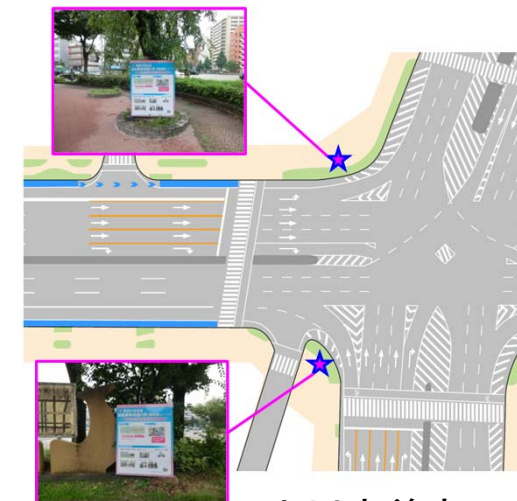
○看板設置場所



伊勢町通り付近



高岳交差点



小川交差点

○街頭指導およびチラシ配布状況

<p>内 容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車利用者に向けた通行ルールと利用方法の周知及び街頭指導 ・ 自転車利用者へのチラシを2回（750部・500部）に分けて配布
<p>実施者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国土交通省 中部地方整備局 名古屋国道事務所 ・ 愛知県警察本部交通部交通総務課・交通規制課 ・ 中警察署、東警察署

◇配布チラシ



◇街頭指導およびチラシ配布状況



○広報時期：平成27年7月5日(日)

○イベントの実施

内 容	・全線運用開始にあわせて『自転車の楽しみ方・ルール・マナーを共に考え、積極的な利用促進を促す』ことを目的に記念走行会を実施
実施者	主催：NPO法人 市民・自転車フォーラム 後援：中部地方整備局 名古屋国道事務所、名古屋市

◇イベント開催状況

